

手稲区デマンド交通の 本格運行への移行について

札幌市公共交通協議会
地域公共交通会議手稲区部会 協議結果



1. 運行計画の概要

■ 実証実験の目的

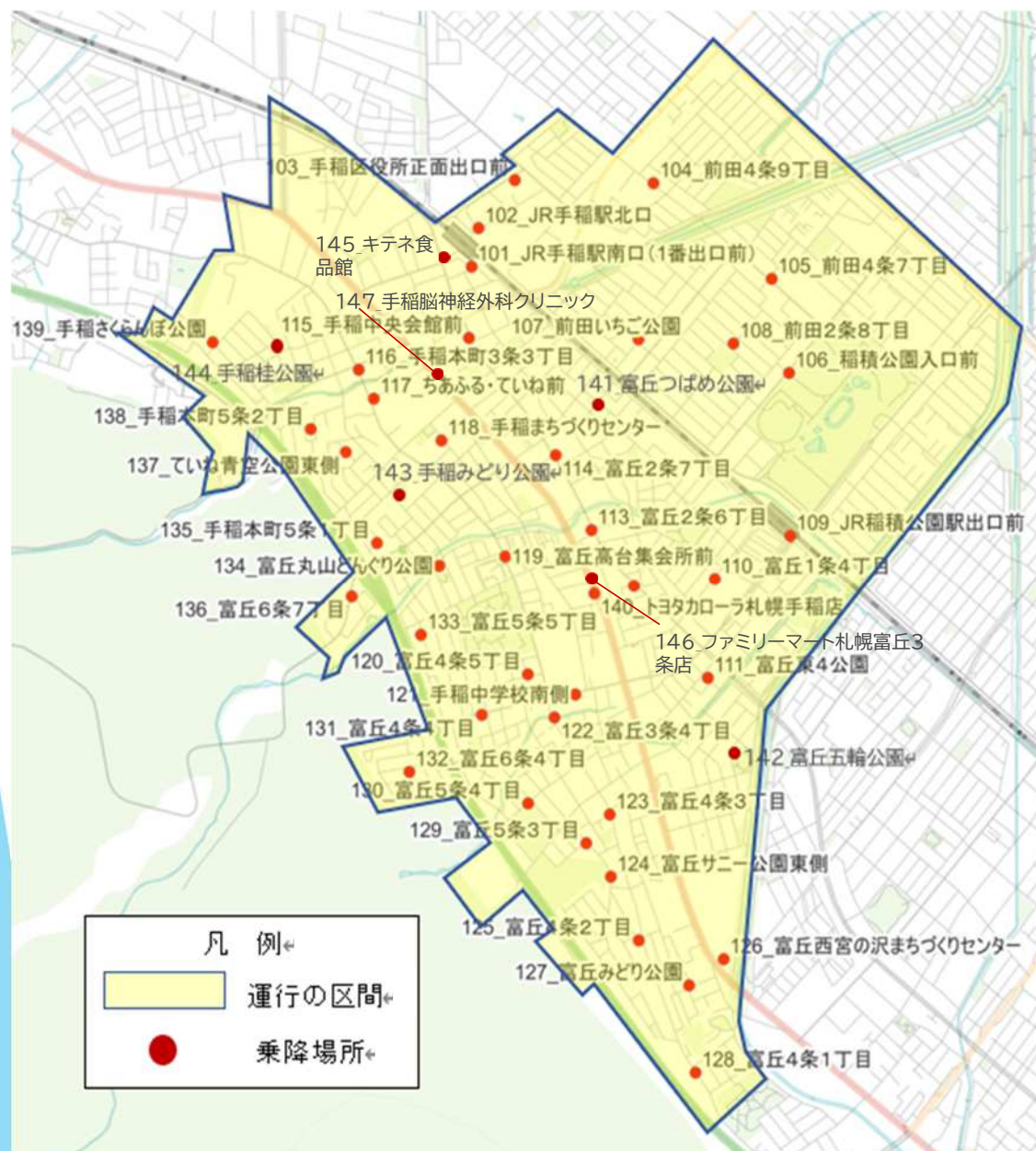
- ①地域の移動ニーズや目的等の分析
- ②デマンド交通に対する抵抗感
- ③AIデマンドシステム活用による効果

■ 実証運行および本格運行計画の概要

実証運行実施期間	令和4年11月21日～令和7年3月31日まで ※祝日および12月29日～1月3日までを除く平日の運行
本格運行実施期間	令和7年4月1日～ ※祝日および12月29日～1月3日までを除く平日の運行
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3第3号） ※事前に設定した乗降ポイント間を運行する 自由経路ミーティングポイント型
運行車両	定員10名のワンボックス車両（乗客定員は8名）1台（+予備車1台以上）
利用可能時間	9:00～16:00
利用者	事前会員登録者
利用方法	電話またはインターネットを利用した事前予約制 ※予約受付時間は利用の1週間前から30分前まで
運行経路	予約に基づきAIシステムが自動生成した経路を運行
運賃	350円/回人（現金のみ対応） ただし、高齢者（70歳以上）は200円/回人、障がい者（障がい者手帳保有者）は200円/回人、子ども（小学生）は200円/回人、乳幼児（小学校入学前）は無料

2. 運行区域・利用状況

■ 運行区域及び乗降場所



■ 会員登録及び利用状況

	令和5年 12月末	8月末 (今回)
会員登録数	818人	931人 (+113人)
(70代以上の割合)	68%	68%
WEB登録の割合	39%	40%
(70代以上の場合)	19%	19%
利用経験者数	336人	377人 (+41人)
利用経験者割合	41%	41%
60代以下の 延べ利用者数	808人	1,217人 (+409人)
(WEB予約割合)	86%	86%
70代以上の 延べ利用者数	8,615人	13,772人 (+5,157人)
(WEB予約割合)	33%	65%

3. 実証実験の総括と本格運行への移行【協議事項】

	項 目	検証	今後の取組の方向性
① 利用状況	会員登録者数 ・ 利用者数	会員登録者のうち、 <u>利用経験の割合は4割であるため、利用者数を伸ばす余地あり。</u>	・ <u>利便性等についてのPRを広報誌等</u> を通じて継続して実施。
	WEB予約	<u>キャンペーンや説明会によりWEB予約利用の増加が期待</u> できることが判明	・ WEB予約利用促進の取組（WEB予約の利便性周知や操作方法の支援等）を継続して実施。 ➡ <u>令和10年度当初からを目標に予約体制をWEB予約へ一本化</u>
② 効果	デマンド交通 ならではの効果 （R5.12に実施したアンケート結果から）	バスの代替としての役割に加えて、 <u>生活の質の向上や健康寿命延伸など多面的な効果が期待できる。</u> 予約に応じた効率的な運行によりジャンボタクシー車両1台での運行を可能としており、大型免許を必要とするバス運転手が不足している中で、 <u>生活交通を守る有効な手段になり得る。</u>	・ 今後の運行についても、 <u>引き続きデマンド交通により実施。</u> ・ また、全市的な視点では、デマンド交通は、今後のバス路線廃止により、代替交通の導入が必要になった場合、 <u>選択肢の一つとして面的な需要を満たす手段</u> となる。
③ 収支状況	運賃収入等	令和5年度の運行経費が約1,680万円なのに対し、運賃収入は約144万円に留まっているため、全ての経費を運賃収入や協賛金で賄うことはできないものの、 <u>一定の収支改善が必要。</u>	・ 令和6年6月に運賃改定を実施しているため、 <u>今後の運賃収入の推移</u> を注視。 ・ <u>収支改善に繋がる取組を継続</u> し、持続可能な運行形態を目指す。